

# 13年水処理シリーズがスタート

## 総合水処理剤 提案強化へ

ダイヤアクアソリューションズ

## 開発技術で差異化を図る



藤本 和富常務



尾崎 文一理事

PH値5・5の弱酸性。皮膚刺激性が少なく、環境に配慮した水処理剤。「顧客の使用傾向によっ

てヒドラジンを非ヒドラジン系と非ヒドラジン系を分けて提案する」(理事・大阪営業所長・尾崎文一氏)という。「M-2000を投入したことで提案の選択肢が広がった」(藤本常務)こととなる。

「K-50」を開発した。非亜鉛系防食剤で、「通常、非亜鉛系だとポリマー系薬品を使うが、この場合、中濃縮以上に水質設定しないと防食効果が出ない。K-50は低濃縮範囲でも優れた防食効果を発揮するのでプロセス上、水質濃縮を上げられない工程に適する」(同)と見て販売に注力している。

「M-1000シリーズ」は非ヒドラジンタイプの空調用水処理剤「M-1000」シリーズを開発、これに続いて環境ISO対応、変異原性対策を強化したM-2000を製品化、市場に投入した。環境に優しい空調関連水処理剤としてM-1000シリーズをメインに国内展開を図っており、昨年にはM-1000シリーズの特許が成立し、全ライオンナップが特許を取得したことになり、環境特性を代理店に対してPRしていく(同)という。

「M-1000シリーズ」は非ヒドラジンタイプの空調用水処理剤「M-1000」シリーズを開発、これに続いて環境ISO対応、変異原性対策を強化したM-2000を製品化、市場に投入した。環境に優しい空調関連水処理剤としてM-1000シリーズをメインに国内展開を図っており、昨年にはM-1000シリーズの特許が成立し、全ライオンナップが特許を取得したことになり、環境特性を代理店に対してPRしていく(同)という。

工業薬品メーカー、ダイヤアクアソリューションズ(社長・田中茂氏)本社・東京都千代田区大手町2-6-2)は空調用水系総合水処理剤「コントライム」Mシリーズ、空調用冷水系防食剤「コントライム」Kシリーズを中核に提案営業を強化、セントラル空調で使用する冷温水系水処理剤は震災以降の節電策による空調抑制の影響で全体として下振れ気味(藤本和富常務)という状況ながら、「開発型企業として研究開発に注力し、開発技術で差異化を図っていく(同)との姿勢で積極策を展開する構えだ。以前は親会社の三菱化学が水処理剤製造を手がけていたが、2010年秋、ダイヤアクアソリューションズに事業移行、これによって同社はメーカー機能を持つこととなった。三菱化学は

## 2013.4.17(水曜日) 空調タイムズ (11面)



### 信頼と実績の総合水処理剤、 コントライム・Mシリーズ。



三菱ガス化学の空調用水処理剤は、横浜ランドマークタワービルをはじめ、オフィスビルやマンション等に数多くの納入実績を持っています。

- 藻類、スライム、レジオネラ菌の抑制に優れた効果。
- スケール抑制効果に優れる。
- 鉄、銅および銅合金に優れた防食効果を発揮。

- 高性能・ノンヒドラジン 空調用総合水処理剤  
**コントライム®・M-1000シリーズ**
- 高性能改良型・ノンヒドラジン 空調用総合水処理剤  
**コントライム®・M-2000**
- 高濃縮に信頼のロングセラー 空調用冷却水 総合水処理剤  
**コントライム®・M-600**
- 中性能スライム除去・殺菌剤  
**デスライム**
- 高性能冷温水防食剤  
**コントライムK-6000シリーズ**